

別紙 2

「フュージョンエネルギーの社会実装に向けた取組の在り方」において示されている、サイトの選定・確保の際に考慮すべき項目

- 用地面積：建屋や設備等を収容するための十分な面積。
- 地質：地耐力・安定性が不可欠。さらに、地盤沈下の影響を受けにくい適切な地盤設計ができること。
- 用水：装置の腐食防止等のための高品質な水を安定的に供給し、非常事態にも対応できる水量の確保が可能であること。
- 生活及び産業排水：多数の従事者の作業に必要な生活排水及び産業排水体制が確保できること。
- 除熱：炉及び関連設備において発生する熱エネルギーを環境中に放出できる条件を備えていること。
- エネルギー及び電力：炉の運転のための安定的な電力供給を確保できること。
- 輸送：サイト外からの機器の搬入ができる体制を確保できること。
- 地元の理解と協力：地域と対話し安全環境への理解協力を得る。
- 規制及びデコミッショニング：規制遵守と安全で確実なデコミッショニングが実施可能であること。

※出典：<https://www8.cao.go.jp/cstp/fusion/shakaijissou.pdf>（2026 年 7 月 10 日閲覧）